



## 第18回世界労働安全衛生会議に向けた ファン・ソマビアILO事務局長メッセージ

この世界労働安全衛生会議の開会に際し、皆様とご一緒する機会を頂いたことに深くお礼申し上げます。

最初に、寛大な主催者である大韓民国政府、そして韓国産業安全公団に心から感謝の意をお伝えしたいと思います。

2年前、韓国の政労使3者の皆様は、釜山で行われたアジア地域会議でILOを温かく迎え入れてくれました。その会議ではアジアにおけるディーセントワークの実現に向けた10年が始動しました。

この会議への惜しみないサポートを通じ、韓国は改めて、そのコミットメントを示しています。

今までに皆様が非常に巧みになさってこられたように、私は今回も皆様が将来のためのクリアな政策の方向性を私達全員に与えてくれることを確信しております。

皆様は歴史的と申し上げても良いほどの経済・社会における大きな変化の時にお集まりになっているわけです。

そして、参集されているこの場は、正にこれらの変化の中心にある地域、中心になる国なのです。

たくさんの機会があります。胸躍るような将来の展望も数多く見られます。

しかし、今はまた、不確実性と不安の時でもあります。

- 急速な技術進歩
- しばしば不公平なルールを伴う経済のグローバル化
- 厳しい競争圧力
- 金融そして食糧危機
- 失業とインフォーマルな仕事
- 環境面での課題

これらはあまりにも多くの人々に不安感や不安定さを感じさせています。

したがって、私達は生産性と成長を、社会的一体性と平等に結びつける道を示す助けになるように、仕事と労働者の尊厳に基づいた価値を再確認しなくてはなりません。

これが、社会正義に基づいた公平なグローバル化のためのディーセントワークの理念です。

ディーセントワークは安全な仕事でなければいけません。

労働者を疾病、労働災害から守ることはILOの憲章にも明記されています。

そして世界人権宣言や経済的、社会的、文化的権利に関する国際規約も安全で健康的な職場環境への権利を認めています。

皆様のこの会議への参加は、仕事は生活を支えるものであり、決して生活を脅かすものにはならないよう確保することへの誓いを反映するものと言えます。

そして、怪我や病気は“仕事に付随する”べきではないという強いメッセージをも送っています。

そのお心に感謝致します。

皆様は経験上、予防が効果を生むということはよくご存じでしょう。

働く人々の健康の保護は、社会そして経済発展に不可欠なものです。しかし私達は一層の努力をしなければいけません。

今でも、男女合わせて200万人余りの方々が仕事に関連した原因で命を落としていると推計されます。この数字は受け入れがたいものです。

そして、不十分な保護の人的経費を経済価格に直すと、合計で世界のGDPの最大4%に達するとされます。

非常に大きな数字です。皆の損失です。

私達の集団的な義務とILOの主な担当事項は、いずれの場所においても労働者の生活、健康、福祉を保護する実践的な解決法と刷新的な戦略を立案し続けることです。

そして私はここに3つの重要な分野を指摘したいと思います。

第1に、私達は安全衛生戦略のツールを零細・小企業の現実に合わせなければいけません。

2つ目に、今日の働く人々の過半数が従事するインフォーマル経済の労働者のことも考える必要があります。

そして3つ目に、私達の戦略は体系的な知識シェアリングと結果指向の協力プログラムを含まなければいけません。

皆さん

今回初めて、この会議に先立ち、あらゆる層に及ぶ指導者達のサミットが開催されました。

安全な仕事のための戦略は幅広いコミットメントに基づく際に最も大きな違いを生みます。

この会議のテーマが思い起こさせてくれるように、これは正に社会の責任です。

この先、次の点を忘れないで頂きたいと思います。

- 強い意思をもった政府の政策が必要不可欠であること
- 社会対話は関心の共有、信頼、コンセンサスビルディングに基づく堅固な解決策の基礎であること
- 団結の自由と強い労使団体は対話を成功させる基礎であること
- そして、現実生活の状況を扱うことができる鋭敏でよく気がつく職場の管理者が必要であるということも忘れてはいけません

この信念と共に、本世界会議の実りある成功をお祈り申し上げます。

ご静聴ありがとうございます。